

水都大阪の八百八橋をもっと魅力的に
～みんなで取組む現代版の「町橋」制度づくり～



(写真)
2024年5月24日に中之島ガーデンブリッジで
開催した「中之島ブリッジテラス2024春」

suito-osaka bridge terrace

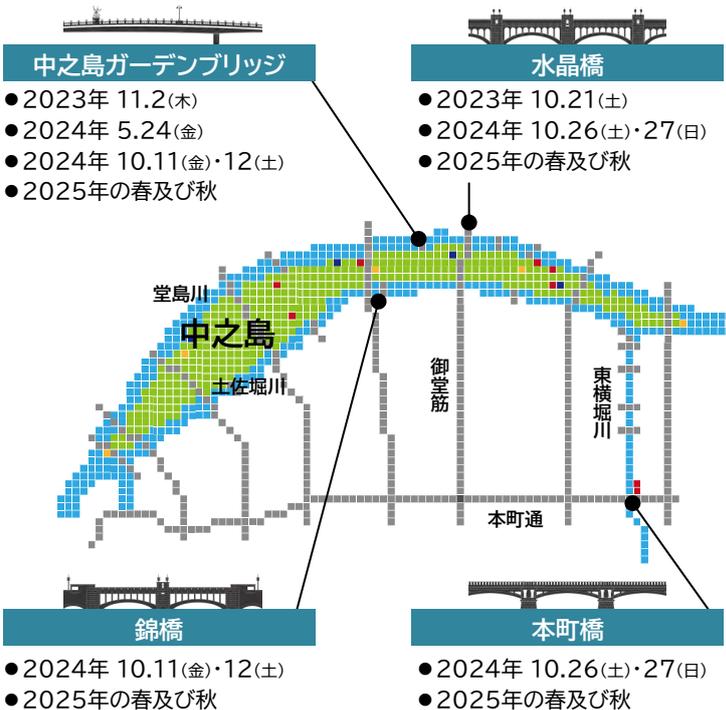
【モデルブリッジ】 中之島ガーデンブリッジ/錦橋/水晶橋/本町橋

対象の橋は、中之島に架かる人道橋である中之島ガーデンブリッジ、錦橋、水晶橋、そして現役の橋としては大阪市内最古の橋である本町橋の4橋としています。

現代版の「町橋」制度づくり
～民間主体による橋のマネジメント～

- 大阪の橋は古くから「なにわ八百八橋」と呼ばれ、生活をはじめ、文化、芸能、社会などさまざまな場面において、広く深く人々と関わってきました。
- 大坂城築城の際に開削された堀川には、有力商人の出資による橋が架けられ、管理も橋筋の町々が担ってきました。
- 幕府直轄管理の「公儀橋(こうぎばし)」に対して、淀屋橋などのこうした橋は、「町橋(まちばし)」と呼ばれています。
- 水都大阪ブリッジテラスは、民間主体による維持管理活動を通じて、橋の更なる魅力向上を図ること、ひいては現代版の「町橋」制度づくりをめざすこととしています。

【これまでの社会実験と今後の予定】



※ 今後の社会実験は予定であり、地元地域や管理者協議をふまえて確定します。



中之島ガーデンブリッジ



錦橋



水晶橋



本町橋

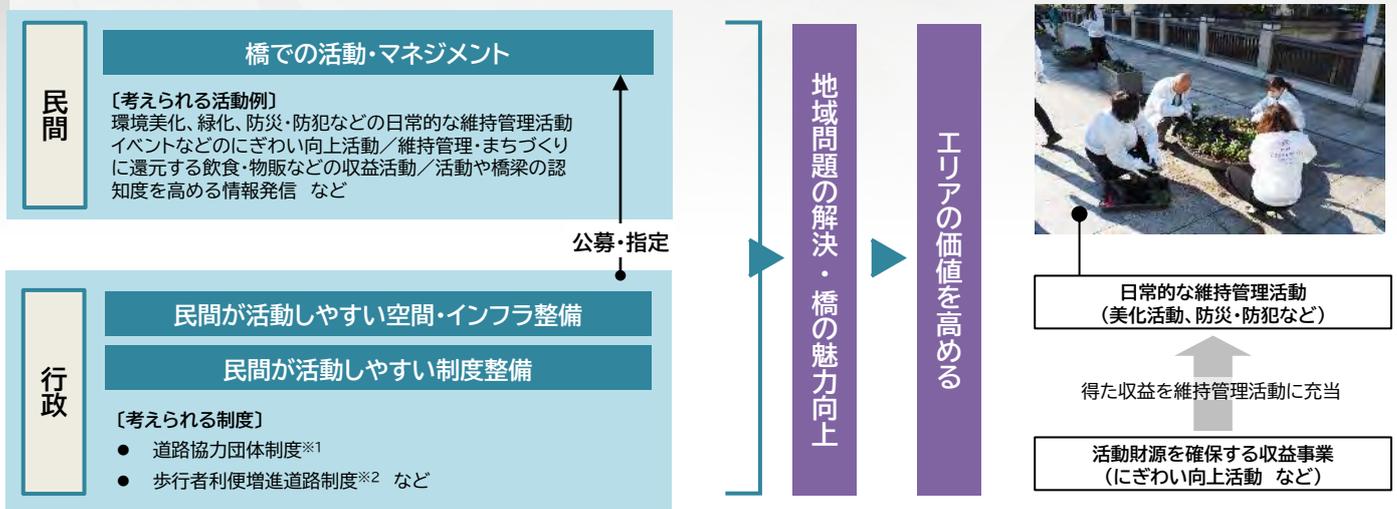
『水都大阪ブリッジテラス』について

現代版の「町橋」制度づくり ～民間主体による橋のマネジメント～

現代版の「町橋」制度とは

- その昔に橋筋の町々が担ってきた町橋の仕組みやムーブメントを継承すべく、
- 民間が活動しやすい既存制度の導入ならびに民間主体による橋での活動・マネジメントを通じて、
- 公民それぞれが有する地域の問題解決や橋の魅力向上を図り、
- エリアの価値を高めていくことを目的としています。

現代版の「町橋」制度



※1) 道路協力団体制度 道路空間を活用する民間団体と道路管理者が連携して道路の管理の一層の充実を図る目的で、平成28年の道路法改正により創設された制度
 ※2) 歩行者利便増進道路制度 道路法等の一部を改正する法律（令和2年11月施行）により、歩行者の利便の増進や、地域の活力の創造といった歩行者利便増進道路の目的をより効率的に達成するために創設された制度

社会実験・4橋共通の検証内容

- 現代版の「町橋」制度や民間主体による橋のマネジメント体制の構築をめざして、デザインや機能、利活用や維持管理方法のあるべき内容について、社会実験などを通じて検証します。



1. 高質で魅力ある橋・橋上空間の検証

[デザイン/機能]

- 橋の魅力化に資する緑化、ライトアップ、民間主体による多様な利活用を促進する空間・施設、利用者の利便向上を図る空間・施設のあり方を検証します。



2. 民間主体による橋上空間の利活用の検証

[利活用・運営のマネジメント]

- にぎわいや華やかさなど、民間の創意工夫による橋上空間の利活用を促す仕組み(体制、活用制度など)を検証します。



3. 民間主体による橋上空間の維持管理手法の検証

[維持管理のマネジメント]

- 快適で美しい橋上空間を創出する、清掃や植栽の水やりといった日常管理をはじめとした民間主体の維持管理のあり方を検証します。